



**ADVANTEST.**

# 2014年度 第1四半期 決算説明会

2014年7月24日

株式会社アドバンテスト

## ご注意

- ◆当社は米国会計基準を採用しております。
- ◆将来の見通しに関する記述について  
本プレゼンテーション資料およびアドバンテスト代表者が口頭にて提供する情報には、当社の現時点における期待、見積りおよび予測に基づく記述が含まれています。これらの将来の事象に係る記述は、当社における実際の財務状況や活動状況が、当該将来の事象に係る記述によって明示されているもの又は暗示されているものと重要な差異を生じるかもしれないという既知および未知のリスク、不確実性その他の要因が内包されています。

**ADVANTEST.**



**ADVANTEST.**

# 2014年度 第1四半期 決算報告

取締役 兼 常務執行役員 中村 弘志

---

## 業績概要 — 7四半期ぶりの四半期最終黒字

(億円)

|        | 2013年度 |     |      |     | 2014年度 |      |       |       |       |
|--------|--------|-----|------|-----|--------|------|-------|-------|-------|
|        | 1Q     | 2Q  | 3Q   | 4Q  | 1Q     |      |       |       |       |
|        |        |     |      |     | 実績     | 前期比  |       | 前年同期比 |       |
|        |        |     |      | 金額  |        | 伸び率  | 金額    | 伸び率   |       |
| 受注高    | 395    | 214 | 274  | 391 | 492    | +102 | 26.0% | +97   | 24.7% |
| 売上高    | 301    | 295 | 197  | 326 | 368    | +42  | 12.9% | +67   | 22.4% |
| 売上総利益  | 153    | 135 | 45   | 160 | 203    | +43  | 26.6% | +50   | 32.4% |
| 営業利益   | -33    | -47 | -264 | -20 | 24     | +44  | -     | +57   | -     |
| 税引前純利益 | -28    | -46 | -269 | -12 | 32     | +44  | -     | +60   | -     |
| 当期純利益  | -36    | -57 | -248 | -14 | 13     | +27  | -     | +50   | -     |
| 受注残    | 258    | 177 | 255  | 320 | 444    | +124 | 38.8% | +185  | 71.7% |

**ADVANTEST.**

2014/7/24

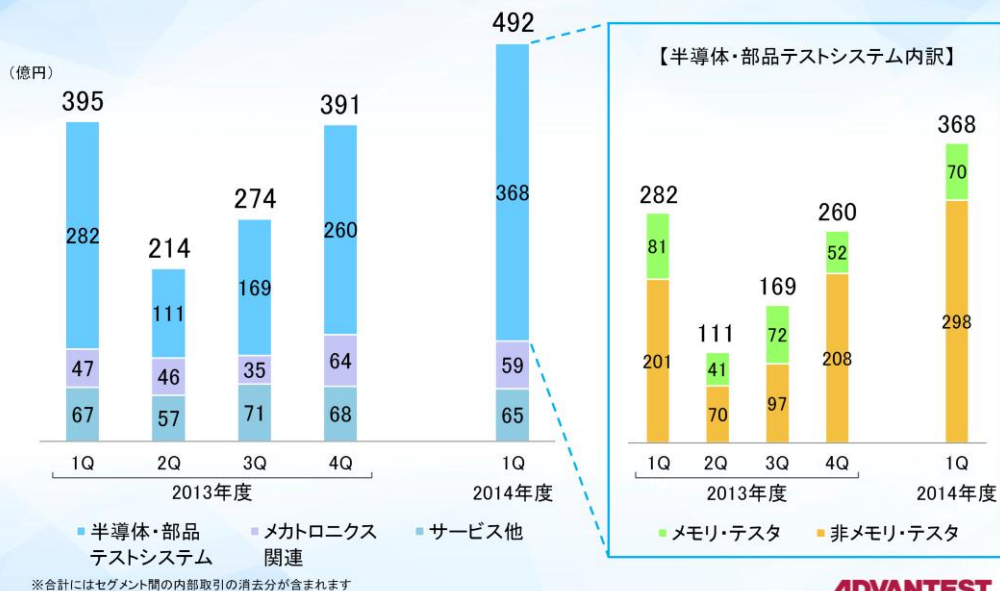
All Rights Reserved - ADVANTEST CORPORATION

4

### ○ 2014年度第1四半期の業績概要

- 受注高 492億円 前期比 26.0%増
  - 売上高 368億円 前期比 12.9%増
  - 営業利益 24億円 前期比 44億円改善
  - 税引前純利益 32億円 前期比 44億円改善
  - 当期純利益 13億円 前期比 27億円改善
- 受注高については7年ぶりの高水準な四半期受注高
  - 利益については7四半期ぶりの四半期最終黒字
  - 受注残は 444億円 前期比124億円増、前年同期比185億円増と大きく増加

## 受注高 事業セグメント別



2014/7/24

All Rights Reserved - ADVANTEST CORPORATION

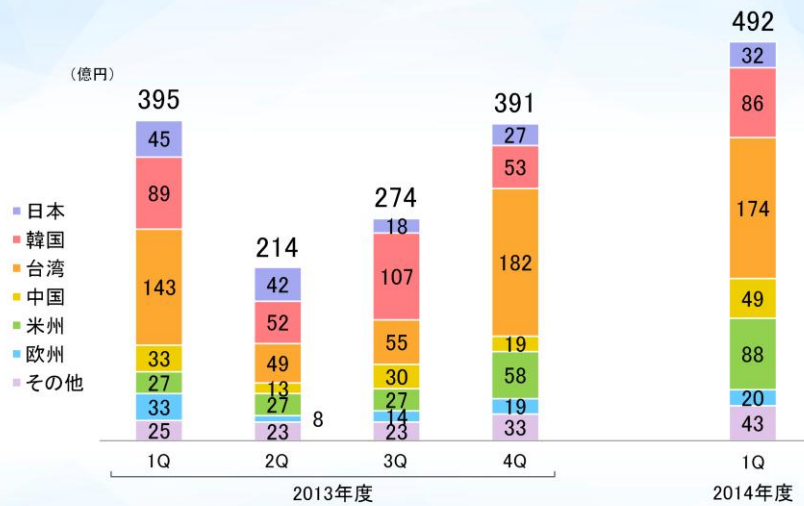
5

### ○ 2014年度第1四半期の事業セグメント別受注高

#### ○ 半導体・部品テストシステム事業

- 前期比42%増 368億円
  - うち非メモリ・テスタ 298億円
  - メモリ・テスタ 70億円
- 中国でのLTEサービス開始に伴う半導体増産の動きに応じ、通信用半導体テストに強い非メモリ・テスタ「V93000」への引合い伸長ほかMCU向け、車載向けが好調に推移。MPU向けも回復
- メモリ・テスタはDRAM向けの需要が堅調  
またNANDフラッシュ向けで大手顧客を獲得、大きな一歩

## 受注高 地域(出荷先)別

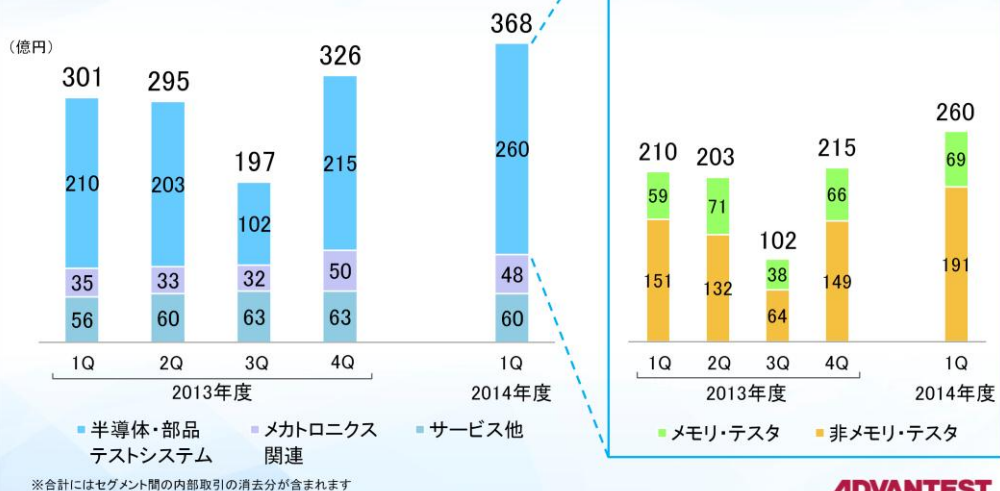


**ADVANTEST.**

### ○ 2014年度第1四半期の地域別受注高

- 台湾、中国  
中国LTE関連の半導体生産能力増強に向けて  
旺盛な非メモリ・テスト需要が持続
- 韓国  
顧客のメモリ・テスト投資意欲が底堅く推移
- 米州  
MPU向けのテスト需要が伸長

# 売上高 事業セグメント別



**ADVANTEST.**

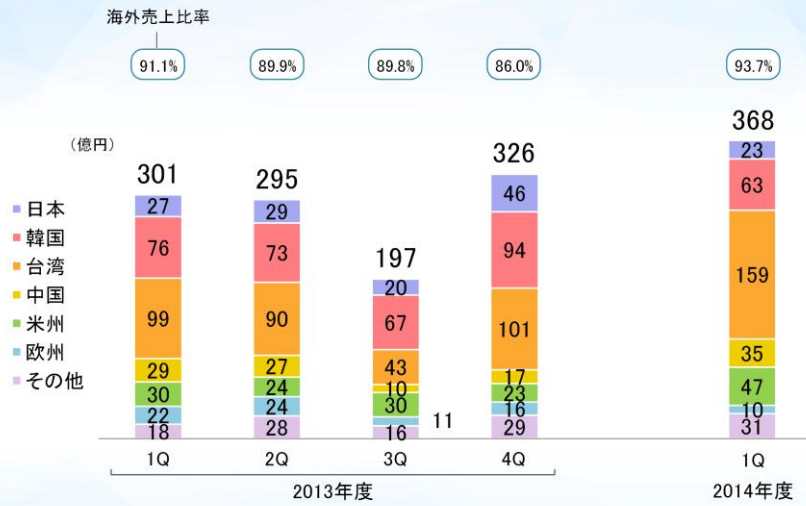
2014/7/24

All Rights Reserved - ADVANTEST CORPORATION

7

- 2014年度第1四半期の事業セグメント別売上高
- 半導体・部品テストシステム事業
  - ・ 前期比21%増 260億円
    - うち非メモリ・テスタ 191億円
    - メモリ・テスタ 69億円
  - ・ 受注同様、中国LTE関連の半導体増産体制構築の動きが強まり非メモリ・テスタ増強の動きが加速
  - ・ メモリ・テスタは安定した需要が続いた

# 売上高 地域(出荷先)別



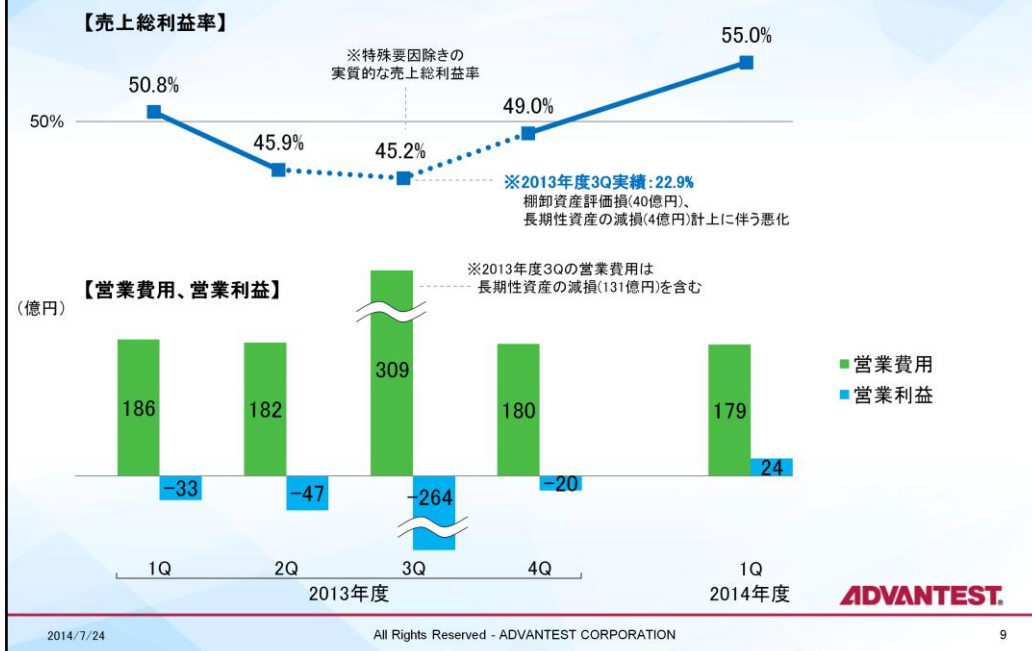
**ADVANTEST.**

## ○ 2014年度第1四半期の地域別売上高

- 台湾  
中国LTE関連の半導体生産能力増強に向け  
非メモリ・テストが伸びた
- 韓国  
顧客需要時期の兼ね合いによる  
メモリ・テストの一時的な落ち込み
- 中国  
メモリ・テストが伸長



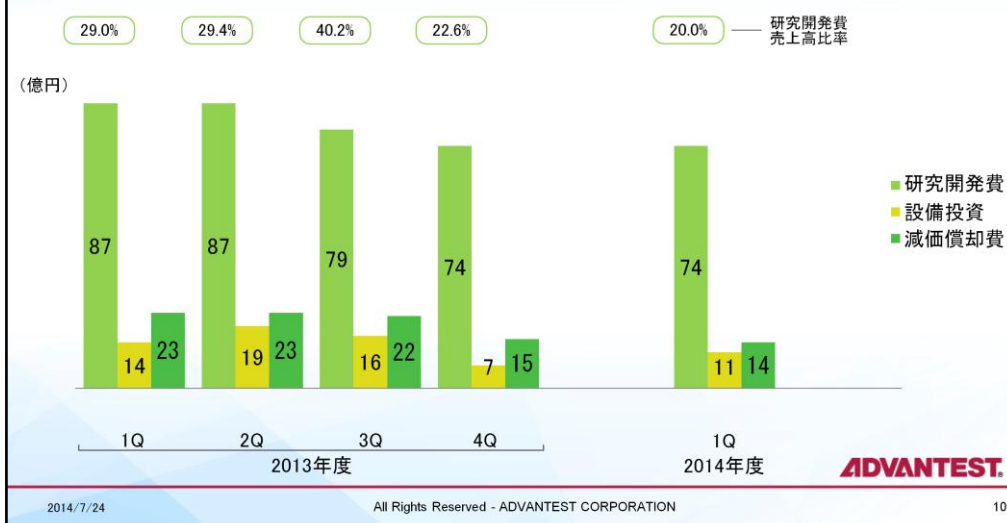
# 売上総利益率/営業費用/営業利益率



## ○ 2014年度第1四半期の営業損益

- 売上高損益分岐点引き下げの取り組みを継続中
- 売上総利益率 55.0% 6.0ポイント改善  
採算性の良いテストシステムの売上が伸び、大きく改善
- 営業費用 179億円  
コストコントロールを徹底、  
テスト売上増への対応や業績連動賞与を織り込んで  
前期を下回る水準
- 営業利益 24億円  
売上総利益の増加と営業費用の低減で、  
7四半期ぶりの四半期黒字

# 研究開発費/設備投資/減価償却費



## ○ 2014年度第1四半期の研究開発費等

- 研究開発費 74億円  
業績連動賞与の引当金増加を踏まえると、実質減少
- 設備投資 11億円
- 減価償却費 14億円





**ADVANTEST.**

2014年度 事業見通しアップデート

# “V字回復に手応え”

代表取締役 兼 執行役員社長 松野 晴夫

# ハイライト

- **顧客ベース拡大による7年ぶりの高受注水準**

- 顧客ベース拡大により、中国LTE関連需要のほか、MCU、ゲーミングAPUなど幅広い領域で受注を獲得
- 「V93000」が販売開始後最高の四半期受注を記録

- **売上総利益率改善**

- 売上総利益率55%水準での推移を今後見込む
- 設計基準に踏み込む原価低減活動を推進

- **オペレーティングコスト削減**

- 補充採用抑制などスリム化の手を緩めず

**ADVANTEST.**

## ○ 今後の事業の見通しについて

- 昨年来の販促努力により新規顧客開拓が順調に進んだ結果が7年ぶりの水準となる四半期受注高となって表れた
- 中国LTE関連需要、MCU、ゲーム向けなど幅広い領域で受注を獲得、非メモリ向け主力機種「V93000」は販売開始後の四半期受注記録を更新
- 売上総利益率を第1四半期に大きく改善できた。第1四半期末の受注残ベースでは、今後も55%前後の水準で推移すると見込む
- 設計基準に踏み込む原価低減活動を推進し、売上総利益率をさらに改善、損益分岐点売上高を引き下げていく
- オペレーティングコストについても手を緩めず削減していく退職者の補充採用極小化や、生産拠点の集約作業を継続
- これら足元の状況を踏まえた今期の業績予想は次のとおり

# 2014年度業績予想

(億円)

※2014年度業績予想 為替前提:1米ドル=105円、1ユーロ=140円

|               | 2013年度<br>実績 | 2014年度<br>1Q実績 | 2014年度<br>2Q予想 | 2014年度<br>上期予想 | 2014年度<br>通期予想 |
|---------------|--------------|----------------|----------------|----------------|----------------|
| <b>受注高</b>    | 1,274        | 492            | 348            | 840            | 1,470          |
| <b>売上高</b>    | 1,119        | 368            | 382            | 750            | 1,450          |
| 半導体・部品テストシステム | 730          | 260            | 250            | 510            | 900            |
| メカトロニクス関連     | 150          | 48             | 62             | 110            | 250            |
| サービス他         | 242          | 60             | 70             | 130            | 300            |
| <b>営業利益</b>   | -364         | 24             | 30             | 54             | 100            |
| <b>受注残</b>    | 320          | 444            | 410            | 410            | 340            |

**ADVANTEST.**

2014/7/24

All Rights Reserved - ADVANTEST CORPORATION

14

## ○ 2014年度業績予想

- 昨年よりもテスト需要に底堅さを見込むこと、これまでの取り組みによる損益面の改善を踏まえ
- 第2四半期については
 

|      |       |
|------|-------|
| 受注高  | 348億円 |
| 売上高  | 382億円 |
| 営業利益 | 30億円  |
- 上期については
 

|      |       |
|------|-------|
| 受注高  | 840億円 |
| 売上高  | 750億円 |
| 営業利益 | 54億円  |
- 通期については、4月の開示内容から変更なく、
 

|      |         |
|------|---------|
| 受注高  | 1,470億円 |
| 売上高  | 1,450億円 |
| 営業利益 | 100億円   |

をそれぞれ見込む

- 以降、事業セグメントごとの見通しを説明

# テスト事業の見通し

## ・テスト市場全体

- スマートフォンの成長がテスト市場をドライブ
- 非メモリ・テストの見通し:  
中国のLTE関連需要の伸びに支えられ、暦年下期の受注調整は昨年より小幅と見込む
- メモリ・テストの見通し:  
DRAM向けは堅調なデバイス市況を反映して安定した需要推移を見込む  
NANDフラッシュ向けは「T5831」を順調に販促
- スマートフォン関連需要に加え、  
データセンター関連のテスト需要立ち上がりを見込む

**ADVANTEST.**

## ○ テスタ事業の見通し

- ・ スマートフォンがテスト市場の牽引役を担う基調はこの先も継続すると考える
- ・ テスタ市場の大半を占める非メモリ・テストについては、スマートフォンの生産動向と連動した暦年下期の受注調整を見込む。しかし中国のLTE関連需要の伸びに支えられ、受注調整は昨年より小幅に留まると見込む
- ・ メモリテストについては堅調な先行きを見込む
- ・ DRAMテストについては、昨年からDRAM需給がタイトになっていることで、テスト需要も安定推移しており、年後半もこの流れの継続に期待
- ・ NANDフラッシュに関しては、SSDに使われる高規格なNANDフラッシュ向けのテストの需要が伸びており、そこにマッチした性能を持つ「T5831」が順調に顧客に受け入れられ始めた
- ・ 中長期まで見据えた視点では、スマートフォン関連需要に加え、データセンター関連の半導体テスト需要の立ち上がりが見込まれる。SSD用のNANDフラッシュや、サーバー用プロセッサをはじめ、IoTの拡がりによって、高速I/F、MCU、通信用ICなどで、一層のテスト需要拡大があると見ている

# メカトロニクス事業の見通し



【ウエハMVM-SEM「E3310」】

## ・ ナノテクノロジー

- 当社ナノテク技術に対する注目度上昇中
- 半導体製造以外の領域でも事業機会拡大
- 微細化に伴い特に引合いが伸びている
- CD-SEMの堅調な先行きを見込む

## ・ デバイス・インタフェース

- テスタ市場回復と連動した堅調な需要推移

## ・ テスト・ハンドラ

- 通信用半導体、車載半導体などに向けた
- SoCハンドラ新製品「M4871」が
- 下期に大手OSATへ本格展開

**ADVANTEST.**

## ○ メカトロニクス関連事業についての見通し

- ・ 今年度メカトロニクスで最も期待しているのは、ナノテクノロジー製品
- ・ 半導体の微細化進展に伴い、フォトマスク用CD-SEMの引合いが好調
- ・ ウエハ用CD-SEMも、FinFETをはじめとする今後のキーデバイスに対する解像度の高さに業界の注目が集まっている
- ・ 半導体前工程装置の需要拡大が今後想定されるなか、当社ナノテク製品もその流れに乗り、今年度大幅に業績を伸長できる可能性が高まってきた
- ・ EB露光装置については、先端プロセス開発、半導体材料開発、半導体以外の部品製造など多様な分野で関心を集めており、受注獲得に努める
- ・ デバイス・インタフェースは、基本的にはテスタと需要連動性がある商品で、テスタ市場回復に伴う堅調な需要推移を変わらず見込む
- ・ テスト・ハンドラは、通信用半導体や車載半導体などに向けたSoCハンドラ「M4871」が、下期からOSAT各社で本格的な採用が進む見通し



# サービス他事業の見通し



【SSDテストシステム「MPT3000」】

## ・ サービス&サポート

- 年間保守契約の拡大とポストセールス強化の取り組み順調

## ・ テラヘルツシステム

- テラヘルツ波を用いた非破壊検査能力に対し広汎な業界から引き合い

## ・ SSDテスト

- データセンター用で需要拡大中のエンタープライズ向けSSDがターゲット
- 1Qより販売開始、既に大手複数社から受注済

**ADVANTEST.**

## ○ サービス他事業について

- ・ サービス&サポートでは、2013年度から取り組んでいる収益拡大策が奏功し、今後も堅調な増収増益を見込む
- ・ 新規事業では、テラヘルツシステムとSSDテストの今後の伸びを期待
- ・ テラヘルツ波を使った非破壊検査機器は、「今まで見えないものが見えるようになる」その可能性によって、アカデミア向けだけでなく、産業用途でも引き合いが出始めた。第1四半期に広汎な業界から受注を受けており、下期中心に売上高を伸ばしていく
- ・ SSDテストを第1四半期に販売開始。現在、エンタープライズ向けSSDの市場が拡大していることで、効率良いSSDのテスト・ソリューションのニーズが高まっており、既に大手複数社から受注獲得。上々の滑り出し
- ・ 来年度以降の収益化に向け、他の新規事業も鋭意展開中